ねがいが　まちにながれている



おもいが　まちにあふれている



夏は、はやり病がおさまるように。秋は、実り豊かな一年になるように。人びとは それぞれの願いを お祭りに託してきたよ。

舞台が登場する、松本のお祭り

天神まつり

天神まつりは、毎年７月24日・25日に深志神社で行われる祭礼です。
24日の夕方には各町の舞台が深志神社へお囃子とともに曳き込まれ、境内に並びます。
25日には例祭や神輿渡御が行われ、松本の夏を彩る華やかな祭りとして親しまれています。

神道祭

神道祭は、毎年10月1日から3日に四柱神社で行われる秋の祭礼です。
このうち10月1日・2日には、各町に受け継がれてきた舞台が展示されます。
舞台の姿や装飾をゆっくりと見ることができる機会として親しまれています。

わたしたちにあいにきてね！



ぶたいちゃん

［発行］東アジア文化都市2026 松本市実行委員会
（事務局　松本市文化振興課）
［制作］一般社団法人ママフェスまつもと
イラストレーション：あいざわいさな
紙面構成・デザイン：相原優

◉舞台について詳しく知りたい方は
https://www.fukashi-tenjin.or.jp/butai/

東アジア文化都市2026松本 HP

深志舞台について（深志神社 HP）

たからもの まちに宝物がある

まつもと深志舞台のお話



ねえ、しってる？

1



わたしは
ぶたいちゃん

わたしは
まつもとにいるよ



ずっとずっとむかしから

ここにいる



江戸時代から、わたしは松本の町でお祭りや人びとのくらしを見つめてきたよ。

3



まちのみんなに　ひきつがれて
ずっと　たいせつに　まもられている



わたしは、たくさんの人に守られてきたよ。
舞台をひく人。お囃子を演奏する人。修理したり、手入れをする人
みんなのおかげで、いまもお祭りに出かけられるんだ。

4



しることが　はじまり

松本深志舞台

江戸時代から城下町に受け継がれてきた山車で、町ごとに趣向を凝らした彫刻や人形、装飾が施されています。現在は18台が「松本城下町の舞台」として松本市重要有形民俗文化財に指定されており、松本の町人文化と職人技を今に伝える貴重な文化遺産です。

